

# いきいきシルバー 豊橋

人がつながる。  
知識ひろがる。

第29号

2021.1 January

公益社団法人 豊橋市シルバー人材センター  
〒441-8087 豊橋市牟呂町字東里42番地の2  
電話0532-48-3301 FAX0532-47-6034  
<http://webc.sjc.ne.jp/toyohashi/>

I k i - i k i   S i l v e r   T o y o h a s h i

令和2年度安全就業の部

安全作業は、みんなの努力の積み重ね

令和2年度交通安全の部

もう暗いお出掛けやめよう 明日がある



自分らしく輝く長寿会員のお一人に聞きました。

ご長寿さん万歳

岡本一郎 会員

昭和6年4月23日生

89歳

(平成20年9月入会)

笠川満子 会員

昭和2年8月10日生

93歳

(平成14年11月入会)

※シルバーではどんな仕事をしてきましたか?

岡本会員 「筆耕同好会に入会して多くの仲間ができました。」

笠川会員 「入会してから約7年間、82歳まで電子部品を結束する仕事をしていました。」

※お元気で長生きできたのは?

岡本会員 「好きなことを仕事にできた」と、耐えてこそ今、幸せを感じる。」

笠川会員 「よくよしないで、自分に自信を持ち何事にも感謝。」

※好きな言葉は

岡本会員 「感謝」

笠川会員 「感謝」

ます。

いつも番乗りで皆勤賞の岡本さん。週3日のデイサービスの日を楽しみに、おしゃれ心を忘れない笠川さん。お一人はみんなのお手本です。

広報作成委員

片岸 初江

# 新年のごあいさつ



会長 酒井 通弘

## 歩む

### 謹賀新年

新型コロナウイルスによる感染拡大の影響により、急速に世の中が変化してきました。

個人の価値観の変化に伴い「新しい生活様式」にあわせた日々を送つて居られる」と思います。

昨今の未會有の状況下において、普段の生活や働き方、今迄の当たり前が大きく変化を遂げようとしていますが、私達の組織団体は、あくまでも基本理念のもと、多くの会員により充実した就業を提供することに変わりありません。

全国シルバー人材センター事業協会、金子会長の座右の銘に「歩前進する勇気・・・」という言葉がございます。「歩、一歩着実に前へすすめるためにも、今年のキーワードを

「歩む」とします。

今年の干支の午「丑」のよつに、ゆっくり地に足を付け苦難、苦惱にも会員、役職員が連携しあい、相談しあい、励ましあい、地域に貢献し、信頼される事業を展開する」ことが必要であります。その一步が「人材を増やす」ことです。

私達一人人が、同志を増やす「声かけ運動」にいま一度、力を出し合い、仕事を発注下さる市民、企業などの皆々様にお応えしてまいります。

本年も、心身ともに足腰強く、歩んでゆきましょう。



**年男・年女に  
聞いてみよう**

質問内容

- Q1** 入会の動機は?
- Q2** 入会して何年目?
- Q3** 現在どんな就業をしていますか?
- Q4** 今後、どんな就業をしたいですか?
- Q5** 今年の抱負を教えてください!

84歳の年女



森田 桂子 会員  
昭和12年1月9日生

72歳の年男



阪井 伸行 会員  
昭和24年4月20日生

- A1 「暇を持て余しているのなら登録してみたら?」  
と仲間から紹介されたのがきっかけです。  
A2 今年で77年目です。  
A3 市の運営する「リサイクルステーション」  
A4 「リサイクルステーション」で就業しています。  
A5 自宅の近くで健康を保てるくらいの就業が希望  
です。

だ」で就業しています。  
昨年はセンター主催のスマホ教室に通いました。  
コロナ禍で自宅にいる時間も多いのでスマホを使えるようにしたいです。また、所属しているゴルフ同好会の「コンペ」にも参加します。残りの人生「日々楽しむ」です。

# 会員ひろば

## Member's square

村田久さん（71）は平成21年12月に入会、センターでは「違反広告物簡易除却等業務」という市の仕事に9年間就業された後、現在は理事として就業推進部会で新規事業の立ち上げや就業に対する問題等の解決に努められています。

また、地元地域では「野依駐在所連絡協議会委員（14年間）」、「少年補導委員（6年間）」、「愛知県少年補導委員会連合会活動向上委員（2年間）」などの委嘱を受け、青パトでの地域内パトロール、警察署や駐在所との地域の橋渡し、少年の非行防止と行動監視や軽犯罪、違法行為減少のため見回りなど、地域防犯活動に尽力されています。



村田 久会員（野依校区）

### 「地域防犯活動への取り組み」

#### かわら版掲載状況



### ゴルフ同好会活動報告



10月22日(日)にキャッスルヒルカントリークラブ（豊川市）で「ゴルフ同好会による第1回「ゴルフコンペ」が開催されました。新型コロナウイルスの影響で同好会の活動開始が当初予定の4月から延期され、初めての開催となつたため、7時30分から参加者19名で発足式を兼ねた開会式を行いました。

イングエリア横で行いました。始めに、同好会の会長中島さんの挨拶、続いて酒井会長からのメッセージの紹介、最後に本日のルール説明をして、各組に分かれ



おりました。ゴルフ仲間がそろわづラウンドを中断されている方、新しい仲間を作りたい方など興味のある方は事務局まで連絡をお願いいたします。雨も心配されましたが、曇りのち晴れの中、13時半には最終組がホールアウト。ニアピン賞のかかつたホールも設定されており、歓声と嘆声が入り交じり、楽しくラウンドすることができました。帰り支度を整え、クラブハウスで閉会式と表彰式を行いました。記念する第1回の優勝者は服部雅司さん。ボストンバッグを「ゴルフ場からプレゼントされ、ニアピン賞、とび賞受賞者の発表後、集合写真を撮影して解散となりました。

## 市内8公園清掃ボランティア

10月3日（土）午前9時から市内8か所の公園で地域班による「公園齊ホラントイア清掃活動」に総勢200名が参加しました。

今回で3回目の活動となりましたが、「コロナ禍にも関わらず前回以上の会員さんに協力をいたたきました。一部の公園では当初予定していた参加人数を上回り、用意していたお茶が不足してしまったアクシデントもあり、皆わんぱく迷惑をお掛けしていました。

今回の反省点や皆さんからの意見を反映し、来年度も大勢の方に引き続き参加を頂けるよう、努めて参ります。

参加された会員の皆さん、お疲れ様でした。



## スマホ教室報告



会員対象にスマホ教室の入門編を11月に3回、12月に入門編5回と基本編を4回開催いたしました。入門編では、電源の入れ方から画面をスライドさせて、電話履歴や通知内容などを確認するなど学びました。

基本編ではメールやインター



## ハイキング講座報告

10月15日、「ハイキング講座」が晴天の中、蔵王山（田原市）で開催されました。参加人数は会員23名、会員講師1名、事務局3名、総勢27名となりました。

10時過ぎに集合場所の「権現の森」でオリエンテーションを開始。講師から歩き方を教わり、必要な方は杖置き場から杖を借り、10分程度で着く「熊野三所権現」の祠を目指して歩き始めました。

「コロナの影響で、人数や時間に制限のある中、多くの会員さんにお申込みいただきありがとうございました。1月以降も開催予定ですので、ご希望される方は、事務局までお問い合わせください。

各講座の終わりには、日頃、疑問に思っていたことを質問していただき、モヤモヤを解消していただ

きました。



た。今回の参加者の中で最高齢は87歳の男性「ホールド会員さん。講師を務めていたたいたのは会員として草刈作業をしている金田博秋さん。公益社団法人日本山岳ガイドの会員としても活躍されています。石段をのぼり、祠が見えました。登山の無事漏れ日が降り注ぐ山道を進む途中で、花の蜜を吸っているアサギマダラの群れに遭遇。海を渡ることで知られている蝶の青白い斑紋の色彩を伝統色の「浅葱」の呼び名で表したものと言われています。

さらに進んで、「蔵王権現由緒」の看板が設置されていました私には少しきつめ感じました。展望台には11時過ぎに到着。展望台の中は空調が効いていて、売店もあります。4階の展望デッキは360度大パノラマ。空気が澄んだ日には遠くの富士山を見ることができます。12時に展望台を背景に集合写真を撮り、下山を始めました。途中、休憩と講師からの健康談話もあり、ケガもなく13時過ぎに集合場所まで帰つてくることができました。次回は3月に開催いたします。興味のある方はぜひ、ご参加ください。

## 女性委員会活動報告



委員長 池脇 洋子

女性委員会は女性会員の増加と活性化を促すため、昨年度より発足した新しい委員会です。

昨年度は講習会やPR活動を行い、その翼を担うことができたと手ごたえを感じております。

今年度は新型コロナの影響により、予定していた講習が思うように開催することができず、歯がゆい思いでした。しかし、女性限定入会説明会に女性委員として出席する等新たな取り組みを始めました。

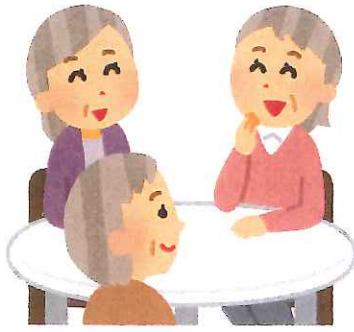
同年代の女性同士話し合う中で、入会前の不安を取り除き、前向きな気持ちで入会していただけるよう、委員一同努力しております。

女性会員の活性化に関する、12月に女性会員限定のミニ門松講習会の開催が決まり、「コロナ禍においても感染対策を万全にして、楽しく交流できる場を提供すること」ができると思います。

また、来年度も様々な講習会を計画する予定です。

女性会員の活性化に関する、12月に女性会員限定のミニ門松講習会の開催が決まり、「コロナ禍においても感染対策を万全にして、楽しく交流できる場を提供すること」ができると思います。

女性の友人知人、奥様等で興味のある方が周囲にいらっしゃいましたら、是非入会をお勧めいただき、一緒にご参加ください。



### <活動実績>

日 程	内 容	対 象	参 加 人 数
令和元年12月	健康ストレッチ体操講習	会員+会員友人	30
令和2年1月	布ぞうり講習	市民	19
〃	PR活動(男女共生フェスティバル)	市民	
令和2年3月	化粧品講習(コロナにより延期)	市民	
令和2年10～12月	PR活動(道の駅)	市民	
令和2年12月	ミニ門松講習	会員	15



健康ストレッチ体操



布ぞうり講習



PR活動 (道の駅)



このサービスを開始して3年目となりました。今年度は「コロナ」の影響から、新規にご利用されるお客様も少ない状況となりましたが、4月から11月末までの期間に19件のご依頼をいただきました。

また、「コロナ」ウイルス感染症の影響により、長距離の移動を伴う里帰り出産が困難であり、親族からの支援が受けられなくなつたお母さんを対象にした「妊娠産婦育児等支援サービス」を、豊橋市よりの月から業務委託されました。

日本人のお母さん以外にも、中国・ベトナム・ネパールのお母さんからの依頼もあり、国籍問わずお困りのお母さんの支援をしています。

依頼内容は清掃・調理中心ですが、産後の利用もあり、沐浴・ミルクの準備・片付けなど、こちらは9月から11月末までの期間に5件のご依頼をいただきました。かわいい赤ちゃんを見るだけで幸せな気分になります。

就業していただける会員さんを募集中です。就業希望の会員さんは、事務局までご連絡ください。また、お困りの方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

担当：三世  
みつよ

## 「子育て支援サービス」実績報告

# 事務局だより

## 募集

### ■安全標語の募集

令和3年度「安全標語」を募集します。つきましては、同封の募集要項を参考の上、皆様ふるって応募頂きますようお願いします。

なお、最優秀作品につきましては、表彰並びに、

事務所内に展示させていただきます。

※詳細は、同封の案内をご覧ください。

## ■山歩き講座

開催日・令和3年3月16日(火)

雨天の場合は18日(木)

集合場所・滝頭公園駐車場(田原市)

解散時間・午前10時

コース・滝頭公園→滝頭山→稻荷山→滝頭公園

申込み受付・令和3年1月末までに事務局まで電話

で申込み

定員・25名

詳細・参加者に後日案内いたします。

## 報告

### ■会員親睦旅行の中止について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員の皆様の健康と安全を最優先に考慮し、今年度の会員親睦旅行は中止とさせていただきました。楽しみにされていた皆様には、ご迷惑をおかけします。

## ■ボランティア活動の中止について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ボランティア募集を予定していた大会の中止が決定されました。

3月 「穂の国・豊橋ハーフマラソン」

2月 「渥美半島駅伝」

3月 「いきいきシルバー豊橋のリニューアルを春頃に予定しています。

広報誌はセンターの様々な活動を会員の皆様に紹介するために欠かせない媒体です。今回、より見やすく親しみやすいものと

するための改善点や提案などを広く募集いたします。

## お知らせ

### ■配分金支払日のお知らせ

- 12月分 1月25日(月)
- 1月分 2月25日(木)
- 2月分 3月25日(木)
- 3月分 4月23日(金)

### ■入会説明会のご案内

1月12日(火) 9時30分から

牟呂高齢者活動センター2F

1月13日(水) 9時30分から

老津校区市民館 集会所

1月14日(木) 9時30分から

二川地区市民館 集会所

1月15日(金) 14時00分から

こども未来館 1F

1月19日(火) 13時30分から

岩田校区市民館

## 編集後記

明けましておめでとうございます。今年は新型コロナウイルスの早期終息を願うばかりです。新年を明るく元気にスタート出来るよう、93歳と89歳の会員さんに登場願いました。また、校区かわら版には地域の防犯活動に尽力されている方を載せていました。原稿作成にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

広報作成委員 後藤 保雄

個人情報の正確性について  
住所・電話番号・配分金振込先の変更がありま  
したら必ず事務局へ連絡してください。

## 皆様からのご意見を!

いきいきシルバー豊橋のリニューアルを春頃に予定しています。

広報誌はセンターの様々な活動を会員の皆様に紹介するために欠かせない媒体です。

今回、より見やすく親しみやすいものと

するための改善点や提案などを広く募集いたします。

お寄せいただいた内容は、より良い広報誌づくりに役立てまいりますので、ご協力をお願いします。

